

理工系分野への女性活躍の推進【長野県】

総事業費	178 千円
交付金額	89 千円

地域の実情と課題

○県内の基幹産業である製造業に就いている女性の割合が男性に比べて低いことは、理工系分野における女性活躍推進が進んでいないことを示している。

○その要因の一つとして、女子中高生の身近に理工系の専門知識を持つ女性のロールモデルが少なく、進路選択時に将来像がつかみにくいことが考えられる。中高生の理解を深める取組を早期に展開し、理工系分野での女性活躍や人材育成を進める必要がある。

目的・目標

<目的>

女性の理工系分野への理解と親しみを深める取組を行い、理工系分野における男女共同参画社会づくりを促進する。

<目標>

交流会、見学会参加者の満足度80%

<達成状況>

参加者アンケートから、パネルディスカッション及びグループ討議ともに満足度は100%であり、目標値を大きく上回った。

事業の特徴

○女子中高生向けの交流会やキャンパス見学会を実施し、理工系分野への理解を深める取組を実施。

・女子中高生向けの座談会(1回)を開催

県内外の理工系高等教育機関で学ぶ地元出身女子大学生や地元ものづくり企業で働く社会人と、女子中高生・保護者を対象とした座談会により、理工系の魅力を発信した。

連携団体

- ・(公財)上伊那産業振興会
- ・上伊那広域連合
- ・長野県南信工科短期大学校
- ・南信工科短大振興会

事業の効果

日頃交流の少ない女子中高生と理工系女子大学生・社会人が自分の言葉で体験や疑問などを活発に意見交換したことにより、参加者が自らの将来への関心を高め、製造業で働くことを選択肢の一つとして考える機会となった。

今後の課題

- ・女子中高生向けの座談会における発表者、参加者の確保
- ・参加者が興味を持てる企画、発表者及び進行役の人選及び調整
- ・はじめて顔を合わせる発表者がお互いに話しやすい会場や雰囲気づくり

事業の概要

女子中高生向けの座談会

参加者7名のうち
中学生は2名
高校生は1名

女子中学生・女子高校生のみなさま



理工系女子大学（校）生や製造業で働く理系女子による座談会を開催します。

地元で活躍する理系の女性人材が求められています。座談会に参加して、将来の自分を描きかけづくりにしてみませんか。

座談会プログラム ZOOMによるオンライン発信あり

<第一部> 約40分

理工系女子によるパネルディスカッション

○テーマ 理工系分野で学び（働き）、興味を持っていること（仮題）
中学生（高校生）時代の夢から現在の夢、これから学び（取組み）たいこと。

○メンバー（予定）

・ファシリテーター

上伊那広域連合 郷土愛プロジェクト キャリア教育コーディネーター 安積 順子氏

・パネリスト

理工学分野を学んでいる女子大学（校）生 3名程度

地元製造業で働く理系女子社員 2名程度

・メインコーディネータ

南信工科短期大学校長 武田 三男



<第二部> 約40分

グループ討議 パネリストへの質問など

<第三部> 約5分

全体まとめ

日時 令和5年2月18日（土）

午後1時30分から3時まで ※ 開場 午後1時から

会場 長野県南信工科短期大学校 学生ホール 南箕輪村8304-190 電話0265-71-505

※ JR利用により参加される方は、伊那市駅から本校までタクシーをご利用ください。
（事前に電話で申込をお願いします。費用は本校で負担します。）

申込方法 ホームページ、電子メール、ファックスまたは電話によりお申込みください。
詳細は、裏面をご覧ください

参加対象者 上伊那の学校へ通っている女子中学生・女子高校生または保護者
定員40名（先着順） 定員を満した場合は、ホームページでお知らせします。

主催 長野県南信工科短期大学校

共催 南信工科短大振興会

後援 上伊那広域連合

パネリスト
女子大学（校）生 4名
理系女子社員 2名



パネルディスカッションの様子

“パネルディスカッション”と“グループ討議”と“まとめ”の3部構成
<満足度>

参加者のアンケート調査によると、

満足度（よかった、まあまあよかったの合計値）は**100%**！

○「少人数のディスカッションは発言がしやすかった。」「話しやすい雰囲気」などの意見が多数であった。

○事業KPI「長野県南信工科短期大学校の入学生に占める女子学生の割合5%」を目標に、今後も継続予定。

座談会の後には
長野県南信工科短期大学校
ミニ見学会を実施！